

1 出典：荒谷大輔『資本主義に出口はあるか』

問一は選択問題です。傍線部(1)より、「神話の作用」によって私たち人はどのようになると述べられているかを「創世記」の例から正しく読み取る問題です。正解はイです。アは「最初に人間が作られたのち、…」が誤りです。ウは「世界が『最初の人間』を作り…」が誤りです。エは「『世界』の支配者になれ」が誤り(正しくは「他の動物たちの支配者として…」)です。

問二も選択問題です。傍線部(2)より、近代では「私」という存在がどう位置づけられているかを読み取る問題で、第五段落の内容を正しく記述できているものが正解です。答えはウです。アは「独自の思考法」「宗教的な物語から解放」が誤りです。イは「『創世記』の神話作用をより強固に…」 「無意識の影響を受けながら」が誤りです。エは「各自が宗教的な物語を内省し」が誤りです。

問三は四行記述問題です。傍線部(3)より、「新しい思考の枠組み」を作る上で大事なことをまとめて記述する問題です。第七段落の内容を中心に記述します。すなわち、「あらかじめ設定されるべきではない」、「自分で納得のいく思考の枠組みを得る『自由』」、「多様な言説の可能性を同等に扱い、各人があらかじめもっているバックグラウンドに関して差別を設けない『平等』」、以上の3つをまとめればよいでしょう。

問四は、抜き出し問題です。第九段落中の傍線部(4)「『世界のあり方』を表して、その中に『人間』を社会的に位置づける」と同じ意味の表現を抜き出します。ここは「神話の作用」＝「言葉の機能」であるという文脈を理解した上で、93行目～95行目「神話は世界の成り立ち…言い換えることができます。」の一文が対応していることを見抜くことが要求されています。そこから11字分の「言葉に意味を与えていく」を導き出すことができれば正解です。

問五は二行記述問題です。傍線部(5)より、「言葉」が「本質的によそよそしい」ということを言い換えて説明する問題です。「よそよそしい」とは「他人に対するようで、親しみがない」という意味です。このことを述べている箇所は73行目「言葉というのは、それだけで見ると、単なる記号でしかありません。」、82行目「その言葉は、『納得』の手前で、…」、85行目「はじめての言葉を聞いても人はその意味をすぐに理解することはできません。」、以上の3つが対応しています。これらをまとめて記述できれば正解です。

問六は三行記述問題です。傍線部(6)より、「新しい思考の枠組み」はどうすることによって作ることができるかを筆者の考えに沿って記述する問題です。傍線部の指示語「そのようなかたちで」とあるので、その対応内容を見つめます。すると、97行目～98行目「各人の思考の枠組み

を取り払い」・「言葉と意味との関係をいったんリセット」、108～110 行目「その新しい意味の立ち上がりに各人が参加」→「自分たちが共有する思考の枠組みを自ら納得する仕方で見出す」の4つが対応していることがわかります。これら4点をまとめれば正解です。

問七は接続語問題です。選択肢の四つの語が必ず一つずつ対応します。Aには例示の「例えば」が入ります。Bは創世記の神話と近代の神話をまとめて「いずれの思考の枠組みも…」と述べているので、要約内容を導く「つまり」が入ります。Cには比較・選択を示す「むしろ」が入ります。Dは、それまでの段落で言葉の機能について述べられていたものが、再び思考の枠組みについての議論に戻る段落の冒頭なので、話題の転換を示す「さて」が入ります。

問八は漢字問題です。ア「死後」、イ「相対」、ウ「休息」、エ「体系」、オ「直結」です。楷書で丁寧に書く練習を日頃からしておきましょう。

問九は内容一致問題です。正解はエです。ア「現代社会においては不要なものである」、イ「よそよそしく響く」「…宙吊りにする」、ウ「その代償として多様性を喪失した」がそれぞれ誤りです。

2 出典：津村記久子『うそコンシェルジュ』

問一は三行記述問題です。傍線部(1)より、「知り合い」ではなく「知り合いのようなもの」と言っている理由をまとめます。4段落と5段落から「私」と「相沢さん」は、「小規模な布の展示会」「順番待ちで後ろに並んでいた」「話し始めて一緒に行動」「連絡先を交換」という流れで意気投合しているのですが、43行目(7段落)に「私的な話はほとんどせず」とあり、本当にうちとけているわけではありません。だから「知り合いのようなもの」と言っているのです。これらの内容をまとめれば正解になります。

問二は四行記述問題です。「私」が「相沢さん」に「一日で作れますんで、今度差し上げますよ」と提案してしまった理由をまとめます。6段落の内容から、長い間自虐のようなことを言う相沢さんにもう話すことがなくなってきたこと、自分の作ったものが完全な他人から評価されるといううれしさ、自発的に欲しがってくれる人がいるということにやや舞い上がっていたこと、これら3つのポイントをまとめれば正解です。

問三は選択問題です。「相沢さん」はどのような人であるかを読み取ります。正解はウです。ア「愛用しているブレスレットを身に付けてロケ現場を追う」、イ「近くのお客から好きな芸能人の主演ドラマがあると聞いて」、エ「サービスのよい芸能人ばかりを追って回る」がそれぞれ誤りです。

問四(一)は選択問題です。「私」が「相沢さん」を「なんだかこの人すごく複雑な人だな」と感じた理由を答えます。正解はエです。ア「申し訳なく思っている様子もなく、明るく振る舞っている」、イ「断りを入れることができるから」、ウ「本当に残念なのは仲間たちに会えないことなのだ」と正直に」がそれぞれ誤りです。(二)は三行記述問題です。結局「私」がしたことをまとめます。傍線部の内容から、15段落と16段落の内容をまとめます。「私」が「相沢さん」の複雑さを重荷に感じ始めたこと、数えるほどしか会ったことがない知人レベルの「相沢さん」の行動に思い悩むことは時間の浪費に思えたこと、もう「相沢さん」と会うつもりはないこと、けれども「相沢さん」が「私」に借りを作るといような人間関係のバランスの悪さが嫌いだったこと、そうしたことから、うそをつくことにしたこと、これら一連の流れをまとめれば正解です。

問五は脱文補充問題です。《あなた、これが気になってたでしょ？ …本当はそれを知りたいのよ。》は、インターネットのサイトを眺めていると出てくるおススメ商品の紹介に関する、やや皮肉をこめた表現だとわかります。したがって、「私」が「検索」をしている場面が該当します。正解は《う》となります。

問六は語句問題です。(一)「うそのつもりで言ったことが、いつのまにかほんとうになること」は「うそからでたまこと」(9字)と言います。(二)は慣用句・ことわざ問題です。「舌」には「二枚」、に「乗せられる」には「口車」、を「かく」には「裏」、には「方便」がそれぞれ入ります。

問七は擬音語・擬態語等の語句問題です。にはカ＝「シャカシャカ」、にはア＝「シヤキシヤキ」、にはケ＝「によきによき」、にはエ＝「シュワシュワ」がそれぞれ入ります。

問八は内容一致問題です。正解はウです。ア「体調不良を理由にするのは姪から認められなかった」、イ「見破られるだろうと不安だった」、エ「『私』は…うそをつくのはよくないと反省した」がそれぞれ誤りです。